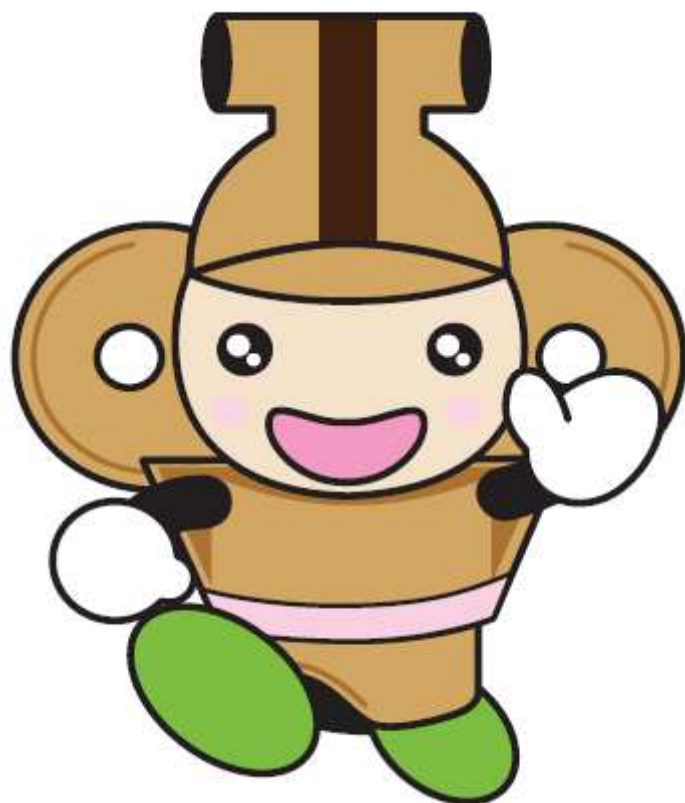


本庄市立小・中学校 「フッ化物洗口実施マニュアル」

付録 フッ化物洗口 Q&A



平成26年4月

本 庄 市 教 育 委 員 会



本庄市立小・中学校「フッ化物洗口実施マニュアル」

1 フッ化物洗口法の種類

フッ化物洗口法の種類は、表のとおりです。

幼稚園・保育園(所)では毎日法(週5回法)・週2回法、小学校・中学校では週1回法が標準的です。

方法によって予防効果に大きな差はありませんので、対象や施設の利便性などに合わせて、どちらかの方法を選択します。

本庄市では、市立小・中学校16校で週1回法・フッ素イオン濃度900ppmの洗口液10mlを使用して1分間ブクブクうがいをします。

方法	対象	フッ素イオン濃度	フッ化ナトリウム濃度	1回分の洗口量	1回の洗口時間
週2回法	幼稚園・保育園(所) 	450ppm	0.1%	7ml	1分間
週1回法	小学校・中学校 	900ppm	0.2%	10ml	1分間



2 薬剤の種類

フッ化物洗口に使用する薬剤の種類は、下の表のとおりです。

本庄市では、ミラノール顆粒11%1.8g1包あたり水道水100mlで溶解して使用します。

商品名	容 量		メーカー 販売元
ミラノール顆粒 11% 	1g	90 包 180 包	(株)ピーブランド・メディコ・デンタル
	1.8g		
オラプリス洗口用顆粒 11% 	1.5g	60 包 120 包	昭和薬品化工(株)



3 必要な物品と費用

フッ化物洗口に必要な主な物品とおよその費用は、次の通りです。
記載している物品に限らず、学級で実施しやすいよう工夫するとよいでしょう。

1 フッ化物洗口剤

本庄市では、市で予算化し購入します。洗口剤は、保管場所の都合上、1年2回に分けて納入します。水で溶解前のフッ化物製剤は、薬事法施行規則により劇薬指定となりますが、溶かした後のフッ化物洗口溶液は900ppm以下となり普通薬の扱いとなります。

商品名	容 量		価 格（税別）
ミラノール 顆粒 11%	1g	90 包	5,500 円
		180 包	10,000 円
	1.8g	90 包	6,700 円
		180 包	12,200 円
オラブリス 洗口用顆粒 11%	1.5g	450 包	27,500 円
		60 包	2,905 円
		120 包	5,810 円

2 溶解ビン(1本200円)

少人数のクラスでの使用に向いています。

本庄市で予算化し、必要とする少人数のクラスに配布します。

フッ化物洗口薬剤1包を水道水100mlに溶かして洗口液をつくります。

付属の計量カップで1回分の洗口液を計り、洗口用コップに分注します。



3 ディスペンサー付ボトル(1050円・ディスペンサーのみ525円)

児童・生徒数が40人までのクラスでの使用に向いています。

児童・生徒1人あたり**2回押し1回分の洗口液10ml(小学校・中学校)の計量・分注ができます。**

○最初数回押しして、一定量出るようになってから児童・生徒に分注してください。

○各クラスの児童・生徒数分が一目でわかるよう、ボトルに○年○組、必要量をテープなどで印をつけておくと便利です。



ディスペンサー付ボトルの衛生管理

○ネジの黒ずみは、歯ブラシでこすって汚れを落とします。

○日光に当てて乾燥するようにします。

4 ポリタンク

各学校の薬剤希釈指示書に基づき、ミラノール顆粒を入れ、水道水で希釈します。

よく溶けるように、混ぜ合わせた後良く振ります。

攪拌後、ポリタンクの蛇口をひねり、各クラス用のディスペンサー付ボトルに分注します。このときポリタンクの上部にあるふたを外さないと蛇口から洗口液が出てきません。

残った洗口液はただちに廃棄します。



5 洗口用コップ(プラスチック)

1回分の洗口液を入れます。

はきだし量や泡の確認をするため、洗口後コップに吐き出します。

紙コップを使用すると、洗口後片付け作業が短縮できますが、費用がかかります。

コップの衛生管理

○歯磨きに使用しているコップを用意させます。

月曜日に家庭から持参させ、金曜日に持ち帰らせます。

○歯磨きセットと一緒に個人管理させます。(週末に持ち帰り)

コップを忘れた児童・生徒への対応

○忘れた場合は、自己責任として実施できないことにします。

○忘れないよう自覚を持たせるため、フッ化物洗口の大切さについて健康教育を行います。

6 タイマー・砂時計・フッ化物洗口用音楽CD

クラスごとに上記いずれかを1個使用します。

洗口時間(1分間)を計測します。



7 収納かご

水洗いしたディスペンサー付ボトルとポリタンクを乾燥させるために使用します。

本庄市で予算化し、クラス数に応じて必要数を配布します。

8 バケツ(クラス用)

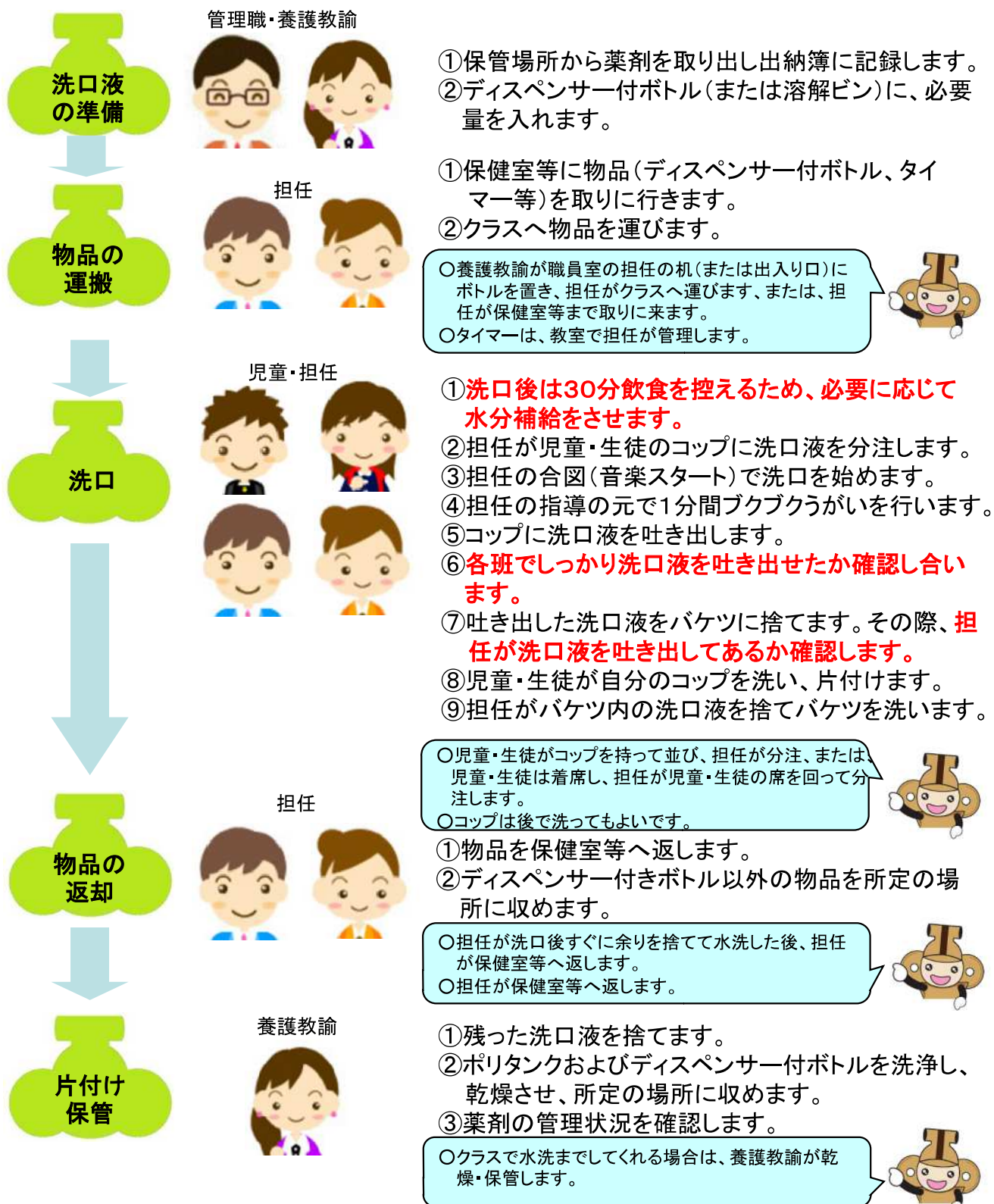
本庄市で予算化し、クラス数に応じて必要数を配布します。

吐き出した洗口液を集め、流しに捨て、バケツを洗います。



4 実施の手順

施設の実状に合わせ、スムーズに実施できるよう、手段と役割分担を決めます。
子どもたちが積極的に参加できるような体制を作ります。





5 薬剤の管理

薬剤や洗口液は、日ごろから管理体制を確実に取り、誤飲・紛失などの事故が起きないように管理します。

1 薬剤の管理 《養護教諭と管理職(保健主事・教務担当)》

学校歯科医から、年度当初に指示書を発行してもらいます。

薬剤は、直射日光や高温を避け、**鍵のかかる戸棚や金庫などに保管し、管理を確実に行う**ことが必要です。

この時、**薬包に順次番号をつけ、薬剤出納簿に記録し、簡便かつ確実に管理**します。

○毎回管理職と養護教諭の2人で使用薬剤数を確認し、残数もダブルチェックします。

○残数把握を容易にするため、薬包に連番番号を記入し、後方番号の薬包から使用します。

○ミラノールは年2回に分けて各学校に届きます。学校薬剤師に一回分を瓶に入れてもらい、希釈しやすいようになっています。



2 洗口液の作成・保管 《養護教諭と管理職(保健主事・教務担当)》

ポリタンクやディスペンサー付ボトルや溶解ビンなどの容器に規定量の水道水を入れ、1回分の薬剤を加えてよく振り混ぜ溶解し、必要量の洗口液を作成します。**洗口液の作成には、誰が従事してもかまいません。**

洗口液は、洗口実施日当日に作成し、残った洗口液は廃棄します。また、洗口液の廃棄により河川等の環境汚染をすることはありません。

3 何か問題があったと思われる場合

フッ化物洗口液は、1回分全量を飲み込んでも安全な量に処方されていますが、その他ご不明な点等がございましたら下記までお問い合わせください。

名 称	電話番号	住 所
本庄市教育委員会	0495-25-1183	本庄市本庄 3-5-3



6 実施にあたっての留意事項

1 フッ化物洗口の実施日時

フッ化物洗口を実施する曜日や時間帯は、学校の実状に応じて決めます。
時間帯は、**洗口後30分間飲食を避けることができる時間帯に設定します。**
なお、行事などの都合で変更する場合は、洗口後30分間飲食を避けることができる時間帯にずらしします。曜日についても、前後の日に変更してもかまいません。

○事前に管理職に相談し、担任を通して、児童・生徒に変更を連絡します。



2 洗口が上手にできない児童・生徒への対応

実施前に、**水道水を用いて洗口の練習を十分にを行い、誤飲しないことを確認してから開始します。**

洗口時は**顔をやや下に向け**、耳を澄まして‘ブクブク’の音を良く聞きながら、泡をたくさんたてるよう助言します。

○洗口液を飲んでしまう子には、うつむいてうがいをさせたり、洗口液を倍に薄めたり、洗口時間を短くするなど、その子にとって上手にできるやり方を探します。

○みんなで一緒に行うと気が散って誤飲する子には、落ち着いてできる時間に行います。



3 フッ化物洗口を希望しない児童・生徒への対応

希望しない児童・生徒には、水道水を用いてほかの児童・生徒と同様に実施するなどの配慮をします。また、実施しないことを認め合う意識を育てていきます。

○保護者と洗口時の対応を相談します。

○子どもにもどうしたいか気持ちを聞きます。

○子ども自身が実施しない理由を納得できるように、保護者から説明をしてもらいます。



4 フッ化物配合歯磨剤の使用

フッ化物洗口と併用しても安全性には問題ありません。むし歯予防効果が高まり、清掃効率も上がりますので、積極的な使用が望まれます。



フッ化物配合歯磨剤をおすすめします！

日本では、この10年間でフッ化物入りの製品が増え、現在、スーパーや薬局で購入できるほとんどの歯磨剤にフッ化物が入っています。手軽にできるむし歯予防の手段として大いに期待できます。ただし、使い方によって効果に差が出るため、1日の使用回数を増やす、歯みがき後のうがいを少なくするなど、効果的な使用方法を実践することが大切です。

■推奨される使用方法（う蝕予防のためのフッ化物配合歯磨剤応用マニュアルより）

- ① 使用量：歯ブラシに年齢に応じた量（下表）の歯磨剤をつける。
- ② 歯みがき：みがく前に歯磨剤を歯面全体に広げ、2～3分間みがく。
- ③ うがい：唾液をはき出した後、ブクブクうがいは1回にとどめる。
- ④ 歯みがき後：1～2時間程度は飲食をしない。

年齢	6か月～2歳	3～5歳	6～14歳	15歳以上
使用量	切った爪程度	5mm以下 (0.25g)	1cm程度 (0.5g)	2cm程度 (1g)





1 フッ化物の安全性について



Q1

フッ化物は、健康に影響はありませんか。

A1

フッ化物(フッ素)は体を構成している元素のひとつです。また、お茶や水、根菜類や海草類など多くの食べ物の中にもフッ化物は含まれています。フッ化物は体にとって必要なものですが、取り過ぎは様々な健康への害を及ぼします。取り過ぎると悪心やおう吐などの症状が生じます。

たとえば、食塩は適量であれば健康維持のため必須のものですが、取り過ぎると高血圧など健康を害することになります。



Q2

むし歯予防に使用するフッ化物は、どのように作られていますか。

A2

むし歯予防には、フッ化ナトリウムが使用されます。フッ化ナトリウムは自然の中に存在する蛍石から精製されています。お茶に含まれているフッ化物も性質は同じものです。

なお、公害の原因となるフッ化物はフッ化水素などですが、これとむし歯予防のフッ化ナトリウムとは性質が大きく異なります。



Q3

洗口後、口の中に残るフッ化物は体に蓄積されますか。

A3

フッ素は体を構成している元素で、人間の構成元素として13番目に多い元素です。体重50kgの人は約2gのフッ素からできています。そのため、必要な量は体に蓄積されますが、必要のない分は、尿や便、一部は汗、涙、唾液などから排泄されます。



Q4

洗口液を誤って飲み込んでしまった場合、体に害はありませんか。

A4

フッ化物洗口液は、1回分の洗口液を誤って飲み込んでしまっても、体に害が生じることはありません。安全な量に処方されているので大丈夫です。仮に、フッ化物濃度900ppmの洗口液10ml(週1回法)を誤って飲み込んだとすると、9mgのフッ素を体に取り込んだことになります。

軽い不快症状(はきけなど)が発生する濃度は、体重1kgあたり2mgなので、体重30kgの児童の場合、誤って6人分以上を飲んだ場合です。

一方、慢性的に過剰摂取すると、「慢性中毒症」である「**歯のフッ素症**」や「**骨のフッ素症**」を起こすことが知られています。ただし、フッ化物洗口で用いるフッ化物の量では、急性中毒・慢性中毒どちらも心配はありません。また、「過敏症状」いわゆるアレルギー症状についてですが、ミラノール製剤を使用しての過敏症の報告は、これまで一切されておられません。



Q5

アメリカでは、フッ化物による発ガン率の増加、ダウン症児の出生率が高くなる、骨に異変が起きる等の研究報告があると聞きましたが、それは本当ですか。

A5

フッ化物とガン、ダウン症との関係は科学的に証明されていません。アメリカでの研究報告は確かにありますが、これらの論文をよく読むと、適量を大幅に超えて摂取した場合の結果です。フッ化物洗口で用いるフッ化物の量では、決して危険な状況にはなりません。

骨のフッ素症は、フッ化物の過量摂取による慢性中毒症として疫学的に確認されている疾患です。毎日20～80mgのフッ化物を10～20年以上摂取した場合に生じます。世界的に見ると、一部地域で骨のフッ素症の報告がありますが、高温で多量に飲料水を飲用する地域であることや、栄養不良やカルシウムの摂取不足などの環境要因に関係していると言われています。熱帯地域を除き、飲料水のフッ素イオン濃度が4ppm以下の地域で、臨床的に問題となる骨のフッ素症が生じたという報告ありませんので、日本では全く心配ありません。



Q6

フッ化物洗口は「6歳未満は“禁忌”」と聞きましたが、それは本当ですか。

A6

世界の多くの国々では、フッリデーション(水道水フッ素濃度適正化)等のフッ化物の全身応用が行われています。しかし、現在日本においては、フッ化物の全身応用はされていません。そのためWHO(世界保健機関)は、日本に対して6歳未満のフッ化物洗口については禁忌といいません。日本口腔衛生学会等の専門団体は就学前からのフッ化物洗口法の実施を推奨しています。



Q7

フッ化物入りの歯磨剤を使い、歯科医院でフッ化物塗布も受けています。フッ化物洗口を行うと取り過ぎの問題はありませんか。

A7

取り過ぎの問題はありません。フッ化物配合歯磨剤やフッ化物塗布に加えて、フッ化物洗口を行うことは、むし歯予防の効果をより一層高めることになります。



Q8

フッ化物洗口は副作用がありますか。

A8

フッ化物洗口には副作用はありません。非常にまれに発疹などの過敏症状が出たとの報告がありますが、原因はフッ化物洗口剤の添加成分の可能性があると考えられています。お子さんが以前、フッ化物塗布を行った際に異常がなかった、フッ化物配合歯磨剤を使用して異常がなかったのであれば大丈夫です。



Q9

アレルギー体質です。フッ化物洗口でアレルギーを起こしたり、悪化することはありませんか。

A9

フッ化物洗口でアレルギーを起こしたり、悪化することはありません。フッ化物とアレルギーの関係は、科学的に証明されていません。全ての物質は分子からできていますが、アレルギーは分子量が重く、生体が抗原として認識する際に生じます。フッ素(フッ化物)は、分子量が軽いため、アレルギーの原因となることはありません。なお、フッ化物洗口でアレルギーが疑われた報告があります。この報告によると、パッチテストの結果、洗口液では陰性でしたが、添加物の香料(洗口剤で使われる7万倍の濃度の原液を使用)で皮膚反応が出ました。結論として、アレルギー体質や接触性皮膚炎を起こしやすい人がフッ化物洗口を実施する場合、特に注意が必要ということにならないとされています。



Q10

口の中にキズや口内炎がある時に、フッ化物洗口を行っても大丈夫ですか。

A10

フッ化物洗口液は刺激性のものではないので、キズや口内炎に影響することはありません。ただし、キズや口内炎に水がしみて痛みがあるなら、無理に行わない方がよいでしょう。



Q11

フッ化物で歯が黒くなると聞きましたがどうですか。

A11

フッ化物洗口で歯が黒くなることはありません。なお、主に乳歯のむし歯の進行抑制に用いるフッ化ジアミン銀という薬には、むし歯の部分黒くする作用があります。



Q12

口に入れるものなので安全性が気になります。外からの保護よりも、歯質自体を丈夫にすることが大事だと思います。

A12

安全性については問題ありません。歯質を丈夫にするためには、あごの中で歯が作られている時に、歯を丈夫にする栄養素を十分取ること、もう1つは歯が生えてからフッ化物を用いることです。歯が生えてから栄養に気をつけて歯を丈夫にすることは難しいのです。なお、フッ化物洗口は希望者に行いますので、心配がある方は希望しない選択もあります。



Q13

余った洗口液を捨てることで、環境汚染につながりませんか。

A13

洗口液を捨てることで環境汚染となることはありません。水質汚濁防止法では、フッ素及びその化合物の排水基準を8ppm以下(海域に排出の場合は15ppm以下)としています。新潟県の調査によると、フッ化物洗口液を廃棄した後の総排水口のフッ素イオン濃度は、最高で0.2ppm程度という結果が出ています。

2 フッ化物の効果について



Q14

フッ化物洗口について、賛否両論があると聞きましたが、それは本当ですか。

A14

むし歯予防のためのフッ化物応用については、世界保健機構(WHO)、国際歯科連盟(FDI)、国際歯科学会(IADR)、厚生労働省、日本歯科医師会、日本口腔衛生学会、埼玉県、埼玉県歯科医師会など国内外の専門機関・団体が一致して安全性と効果を認め、積極的な利用を推奨しており、フッ化物利用の反対論についても、学術的に十分検討され、現在に至っています。

埼玉県においては、平成23年10月18日に「埼玉県歯科口腔保健の推進に関する条例」が公布・施行されました。第6条2項の基本的事項に、「幼児、児童および生徒のう蝕予防のためのフッ化物応用を含めた科学的根拠に基づく総合的な歯科口腔保健の推進並びにこれらの者のう蝕罹患状況の地域間格差及び個人間格差の是正を図るために必要な施策」と明記されています。なお、フッ化物利用の反対活動を行う人や団体が存在することは承知しており、日本でも、反対活動を行う団体がインターネットや書籍などで情報を提供しています。

疑問や不安をお持ちの方は、埼玉県歯科医師会、保健センターや学校歯科医等におたずねください。



Q15

フッ化物洗口は、生えだての歯でないと効果があまりないと聞きましたが、高学年から始めても効果はありますか。

A15

フッ化物洗口は、高学年から始めても十分効果はあります。

フッ化物は、生えて2～3年の歯に応用すると最も効果は大きいとされていますが、最近の研究の進歩によって、むし歯菌が酸を作って歯の表面を溶かそうとする働きを弱める、むし歯になりかかった部分を修復する(再石灰化)など、生涯効果が期待できることが明らかになっています。永久歯が次々と生えそろう4歳から14歳までは、フッ化物の効果がとくに大きい時期と言えます。



Q16

フッ化物洗口は大人でも効果はありますか。

A16

フッ化物洗口は、大人にも効果があります。

最近の研究によって、成人期から高齢期にかけて増加する「歯と歯肉の境目」や「歯の根元周辺」のむし歯予防に効果があることが証明されています。



Q17

お茶や紅茶で洗口すると効果はありますか。

A17

お茶による洗口でむし歯予防効果があつたとの報告はありません。ただし、お茶をよく飲んでい

る子どもにむし歯が少ないという報告はあります。
お茶には、0.1～0.7ppmのフッ化物が含まれています。また、お茶に含まれるカテキンの作用によって、むし歯菌の発育を抑えたり、がん予防の効果もあるとされています。



Q18

フッ化物塗布を定期的に受け、寝る前には必ず仕上げみがきをしているのに、むし歯になってしまいました。フッ化物洗口をしても、どれくらい効果があるのか疑問です。

A18

むし歯予防に努力されているようですが、むし歯の要因には、おやつを取り方を始めとした食生活も大きく関わります。もし、食生活にも注意されているなら、歯質が弱い、唾液の分泌量が少ないなどの別の要因があるかもしれません。このような場合、保護者の努力がなければ重症のむし歯になってしまいます。今までのむし歯予防に加え、フッ化物洗口を行うことで、むし歯ができるリスクを下げることができます。



Q19

むし歯には効果がないですか。

A19

むし歯になっていると効果がないということはありません。

フッ化物によって、治療が完了した歯のむし歯の再発防止や、むし歯の部位以外の場所の予防効果が期待できます。



Q20

フッ化物洗口の前は、歯をきれいにみがいていないと効果はありませんか。

A20

歯をきれいにみがいていないと効果がないわけではありません。
最近の研究によって、歯の汚れが多少残っていても効果は変わらないことが証明されています。ただし、歯みがきを全くしていない、食べかすがたくさん残っている状態でも大丈夫ということではありませんので、歯をきれいにすることを忘れないでください。



Q21

フッ化物入りの歯磨剤は効果がありますか。フッ化物洗口と併用すると効果はどのようにになりますか。

A21

フッ化物配合歯磨剤は、子どもから大人までむし歯予防の効果があります。フッ化物洗口と併用した場合は、より一層のむし歯予防効果が期待できます。ただし、使い方によって効果に差が出るため、1日の使用回数を増やす、歯みがき後のうがいを少なくするなど、効果的な使用方法を実践することが大切です。



Q22

定期健診と一緒に毎回フッ化物塗布を続けています。塗布と洗口は効果が違いますか。洗口は必要ですか。

A22

フッ化物歯面塗布は高濃度(9000ppm)、フッ化物洗口は低濃度(225~900ppm)のフッ化物を用います。むし歯予防の作用メカニズムは、どちらもむし歯になりかかった部分を修復する再石灰化の促進です。

専門家による個人の健康管理として行うフッ化物歯面塗布に加えて、社会(公衆衛生)としてのフッ化物洗口を行うことは、むし歯予防の効果を一層高めることになります。



Q23

フッ化物洗口とキシリトール入りガムは、効果は同じですか。

A23

フッ化物洗口とキシリトール入りガムは、どちらもむし歯予防の効果を期待して使うものです。ただし、そのメカニズムが全く異なります。

フッ化物は、むし歯になりかかった部分を修復する働き(再石灰化)を期待するものです。一方、キシリトールは、むし歯菌が酸を作ることができない糖分で、ガムを噛むことによって唾液の分泌を促進させ、むし歯予防を期待するものです。



Q24

フッ化物によるむし歯予防の方法はどのようなものがありますか。

A24

むし歯予防のためのフッ化物応用の方法を下記の表にまとめます。
家庭でできる方法(セルフケア)や、地域の施設や行政で行う方法(パブリックヘルスケア)、また、専門家による方法(プロフェッショナルケア)などいろいろありますので、それぞれの用途に応じて、組み合わせて利用するとよいでしょう。

区 分	方 法	備 考
セルフケア	フッ化物配合歯磨剤など	歯が生えたら利用できる方法、0歳から少量使用可
パブリックヘルスケア	水道水フッ化物添加	(日本では導入されていない)
	フッ化物洗口	ブクブクうがいが上手にできる4歳以上に適した方法
プロフェッショナルケア	フッ化物歯面塗布	ブクブクうがいや歯みがきが上手にできない低年齢の子どもから利用できる方法

3 フッ化物洗口の実施について



Q25

歯列矯正中ですが、フッ化物洗口の時は装置を外さないといけませんか。



A25

フッ化物洗口で装置の金属を腐食させることはないので、外さなくても大丈夫です。
むし歯の治療に使われている金属の詰め物についても、同様に影響はありません。



Q26

フッ化物洗口は家庭で個人的にできますか。家族みんなでやりたいです。



A26

フッ化物洗口は、家庭でも行えます。
歯科医院で指導を受ける必要があります。費用や方法などについては、かかりつけ歯科医にご相談ください。



Q27

家庭で個人の自由に行えばよいのではないですか。



A27

フッ化物洗口は継続的に行わなければ効果が期待できませんが、家庭で長期間継続させることは、簡単なことではありません。

厚生労働省は「健康日本21」に、“個人の多大なる努力によって健康を得ることは大変難しいが、環境を整えることによって、個人の小さな努力で大きな効果を得ることができる”と掲げています。その考え方にに基づき、集団の場合（公衆衛生）を活用してフッ化物洗口を行います。



Q28

夏休みや冬休み中は、フッ化物洗口をやなくてもいいですか。



A28

夏休みや冬休み中に中断しても、毎日の生活習慣が乱れることがなければ大丈夫です。
むし歯の原因は3つありますので、ご家庭では、だらだら食べない、歯みがきを毎日きちんとすることを守ってください。また、フッ化物配合歯磨剤を忘れないように使用してください。休みの間を中止しても、年間を通じて行うことが大切です。



Q29

集団で行うと、個人に目が届かずいい加減にならないでしょうか。



A29

今まで多くの小学校でフッ化物洗口が行われていますが、いい加減になることはありません。
むしろ、健康教育との相乗効果によって、歯を大切にする子どもが増え、自主性が育ちます。



Q30

長い目で見ると、大人の食事や子育てへの関わりが大事ではないでしょうか。フッ化物洗口を行っていても、スナックやジュースを取っているのは本末転倒だと思います。



A30

むし歯予防に努力されているようですが、むし歯の要因には、おやつを取り方を始めとした食生活も大きく関わります。もし、食生活にも注意されているなら、歯質が弱い、唾液の分泌量が少ないなどの別の要因があるかもしれません。このような場合、保護者の努力がなければ重症のむし歯になってしまいます。今までのむし歯予防に加え、フッ化物洗口を行うことで、むし歯ができるリスクを下げることができます。



Q31

子どもたちのむし歯は年々減少しているのに、なぜフッ化物洗口を学校で行う必要があるのですか。



A31

確かに、埼玉県内の小学6年生の永久歯むし歯有病者率は、年々減少しています。しかし、日本の子どもたちのむし歯は、先進諸国と比べて2倍多いのが現状です。

現在、埼玉県内で、フッ化物洗口を実施している地域（児玉郡神川町や吉見町等）において、実施している小学6年生では、実施していない児童よりむし歯予防効果が認められました。

このことから、むし歯ゼロの子どもたちの増加をめざして、今後もフッ化物洗口を推進していく必要があると考えています。

このマニュアルは
本庄市立小・中学校のフッ化物洗口実施における参考資料として
以下を参照して作成された

フッ化物洗口ガイドライン(厚生労働省)

フッ化物洗口ガイドブック(埼玉県・埼玉県歯科医師会)

埼玉県・埼玉県歯科医師会のフッ化物洗口の実務マニュアル

う蝕予防のためのフッ化物洗口実施マニュアル(厚生労働省科学研究班作成)

本庄市立小・中学校
「フッ化物洗口実施マニュアル」
平成25年3月(平成26年4月改訂)

制作:本庄市教育委員会

協力:埼玉県歯科医師会・本庄市児玉郡歯科医師会